

水 清 き ふ る さ と

平成20年度活動のまとめ(2008年度)



安比高原のブナ林

岩手県生活問題研究会

2008年度活動報告

——主体的実践をするために——

2008年は、二度にわたる震災に見舞われ、美しい山、澄んだ川の流れ、豊かな農地が無残にも破壊されました。自然災害は予想もできませんが、明らかに人為的災害といわれる環境破壊はとどまるところを知りません。

わたしたちは、41年目の活動の歴史をふまえ、①水を汚すようなライフスタイルをしないために、改めて水道水の取水口と周囲の環境の視察をしました。

②ゴミの減量化とエネルギー使用にかかわるCO₂削減の意識を高めるためにエコツリーを作り啓発につとめました。③活動の広がりのために、県消費者大会や岩手県主催の環境王国への出展など、可能な限りの啓発活動をしてきました。④研究会発足当時から継続してきた「いのちを育む水」の汚染を防ぐために、他団体との連携を大切にしながら自分たちの手や足を使った活動をしてきました。

わたしたちの活動は、かなりの広がりを見せていますが、忘れてならないのは時に原点にたちもどり、現に課題となっている内容に結合させていくことだと考えます。

そのためには、地球規模の視点にたった学習を深めながら、身近な問題について「やってみる」という実践が必要となります。

2009年は、ひとり一人の英知を集め所期の目的を達成するために、共に努力していきたいものです。

2009年4月

岩手県生活問題研究会
会長 佐藤 まゆみ

水道もりおか

26

2008.6.1(年2回(6/1・12/1)発行)

編集・発行 盛岡市水道部総務課

〒020-0013 盛岡市夢野町6番8号

Tel 019-623-1411(内線6228-6230) Fax 019-623-1410

暮らしと水 VOL.15

身近な暮らしから始まった環境保全運動

みんなで守ろう、 盛岡の美しい川と水

飲み水として生活用水として、私たちの暮らしを支えている水。この豊かな水環境を守るのと40年以上にわたって活動しているのが、盛岡市の「岩手県生活問題研究会」です。河川水の調査やゴミの問題など長年の活動から見えてきた盛岡の水環境について伺うとともに、環境にやさしい廃油石けんの作り方も教えていただきました。

広大な岩手県を南北に縦走る北上川、秋にはサケが遡上する中津川、そして変化に富んだ川辺が広がる雫石川。市中をゆったりと流れる3本の河川は、「杜と水の都」と称される盛岡市のシンボル。美しい水の流れと緑豊かな川岸は、いつまでも残していきたい風景といえるでしょう。

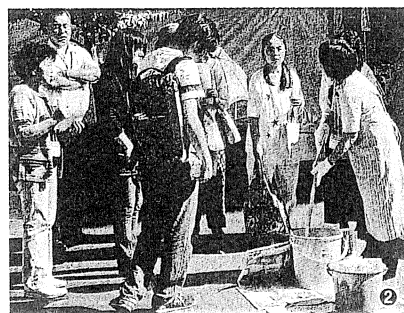
そんな美しい川を守る活動を行っている市民組織が、盛岡市を中心に活動している「岩手県生活問題研究会」。結成された昭和39年は合成化学洗剤を含んだ排水による河川や海の水環境悪化が全国的な社会問題となっていた時期で、「ここ岩手県でも、流れに泡が浮いていたり川底の石がヌルヌルするなどの現象が起ころはじめていました」と、会長の佐藤まゆみさんは振り返ります。

まずは泡を出す水を川に流さないようにしよう！——全国各地で始まった市民運動にいち早く賛同した当研究会は、市内の主だった河川の水質調査を手始めにさまざまな行動を実践してきました。そして近年はゴミ問題や容器包装リサイクル、食や農業など環境問題への活動は広がっています。「ゴミや農業など環境問題の多くが最後に行き着くのが「水」。いろいろな活動を通して、水環境を守ることの大切さを多くの人に知って欲しいんです」。佐藤さんはそう話します。

廃油を使った手作り石けんの配布や作り方講習会の出張開催も、水環境を身近に考えてもら

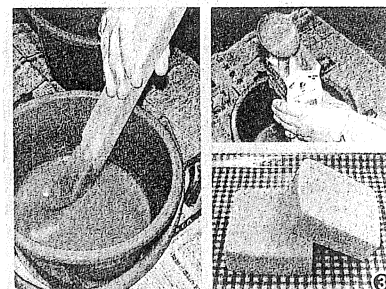
う活動のひとつ。「家庭から出る雑排水の中で、もっとも環境に負担をかける食用油を回収して作ります。天然成分なので食器洗いにも使え、軍手や子どもの靴下などの頑固な汚れもよく落ちるんですよ」と佐藤さん。ほんのひと手間です。誰にでもできるエコライフ、これは試す価値ありです。

佐藤さんたちの長年にわたる活動や行政・企業の取り組みにより、現在盛岡の水環境は良好な状態を保っています。「他県の人からも盛岡の水道水は本当においしいと言われますし、河川の水もきれいですよね」と佐藤さん。実は中津川の風物詩であるサケの遡上も、盛岡の水の美しさを示す証拠といえます。「専門家に聞いたのですが、川床でサケが群れている場所にはきれいな伏流水がわいているそうなんです。人間以上に水質に敏感なサケにとって中津川はまさに母なる河川。こういうことを、大人はもちろん子どもたちにも伝えていきたいと思います」。佐藤さんの言葉に、力がこもりました。



岩手県生活問題研究会では、6月8日に中津川河川敷で行われる「緑のフェスティバル」をはじめ、8月1日の「水の日」などで廃油石けんの無料配布を行います。

みなさんも、洗濯や食器洗いなど身近な暮らしの中から、水を守る活動をはじめてみませんか。



①…岩手県環境アドバイザー、地球温暖化防止活動推進委員として県内各地で講演も行った佐藤まゆみさん。「環境保全は、まず生活の見直しから始まります」。

②…盛岡市の「消費者まつり」などさまざまなイベントにも出店。廃油石けん作りのデモンストラレーションや出張講座も行っています。

③…廃油石けんは、家庭から出る食用油と苛性ソーダ、水で作られます。汚れを落とす界面活性剤も、河川に流れ出た時点で微生物に分解されます。ポリバケツに苛性ソーダを入れ水で溶かし、たら廃油を入れ棒でよくかき混ぜます。牛乳パック等で固めると石けんができます。

【材料】

まぶら油 3.3ℓ・苛性ソーダ 450g・水 0.9ℓの割合

※苛性ソーダは劇薬ですので、作業中は手袋をする等、皮膚に触れないよう注意が必要です。

◎取材協力／岩手県生活問題研究会 盛岡市山根6丁目24-14

全国へ盛岡ブランドを発信していきます。[盛岡ブランド・Eマーク]



もりおか暮らし物語

MORIOKA BRAND

水道源水 取水口を見学して

日時 2008年7月23日(水) 午前9時～12時

場所 盛岡市水道部浄水課 新庄・米内・中屋敷・沢田の各浄水場取水口

参加者 杉山 葛 松村 田上 細野 吉田 横藤

私たちの会では、毎年水環境について話し合い、どうしたらきれいな水環境を守って
いけるか、私たちでできることは何だろうと考え、テーマを決めて取り組んできました。
石けん作り、河川水の水質検査、漂白剤や、蛍光増白剤の学習など……。
今年は身近な水道水はどのようにして、私たちの家庭まで届けられるのか？水源はど
こにあるの？といった疑問からまず取水口を見学してみたいということになりました。

4箇所取水口を見学して

新庄： 浄水場と離れた場所にあるので意外でした。

米内： 浄水場よりかなり上流にあり、まわりには道路や住宅もあり、家庭用雑排
水などが流れてこないか気になりました。

中屋敷： 盛岡駅にも近い雫石川から表流水を取水しているそうです。

沢田： 梁川から取水していましたが、見上げると道路が通っていて事故でもあつ
たら大変と感じる場所でした。事実数年前交通事故があったようですが、
取水口には影響がなかったようです。



米内取水口

- ・ 取水口によってオイルフェンスの張り方が違うことがわかりました。
(ネットが二重になっているところなど)
- ・ 盛岡は川や森が多くあり、他市町村に比べ水に恵まれていると感じました。

※ 見学・説明には市水道部、安部哲巳さんに同行していただきました。

取水口を見学し、浄水場の仕組みはどうなっているのか？

また、ペットボトルの水が大量に販売される中で水道水は飲料に適しているか？

他の市町村の水道水はどうかなど益々疑問が広がってきています。

次に何をしたいか

今後会としては、浄水場見学や各市町村の水道水の試飲、飲み比べなどをして、水道水が飲料として適しているか、また市販されているペットボトル水に頼らなければならないのかについて考えてみたいと思います。

報告 田上 みね子



中屋敷取水口

「水の日」行動への参加

日時 8月1日

場所 中三前・川徳前

8月1日は「水の日」です。私たちは毎年この運動に参加しています。きれいな水を未来へと願い廃油利用の手作り石けんを配布しています。

水を汚さない工夫、水を大切に使いましょうと水環境についても市民にPRしています。今年は手作り石けん500個配布しましたが20分ぐらいであつという間になくなりました。この石けんを使ったことがある人は、汚れが良く落ちて子どもの靴下などには重宝しています、このような活動に感謝しますなどの声もあり、やって良かったと嬉しくなります。

これからも水環境を守るために続けましょう。



中三前で石けんを配布

—あなたはイメージで水を買っていませんか—

ボトルで買う飲み水のミネラルウォーター。県庁所在地別の購入金額だと1位は長崎市。一番少ない青森市の約4倍。水道水の利き水で飲み比べると決して悪くは無いのだが・・・

あなたはイメージで買ってしまうことはありませんか？

水は金儲けの道具ではありません。水道事業は「命の水」を届ける重要なライフラインです。公共サービスとしての公営水道を維持することが大切です。

1人あたりの購入金額 (06～08年平均、総務省家計調査をもとに作製)	
多い市	① 長崎市 1302円
	② 広島市 1271円
	③ 川崎市 1239円
	④ 那覇市 1201円
	⑤ 水戸市 1144円
少ない市	① 青森市 311円
	② 鳥取市 340円
	③ 盛岡市 402円
	④ 松江市 409円
	⑤ 熊本市 478円

The Asahi Shimbun

緑のフェスティバル

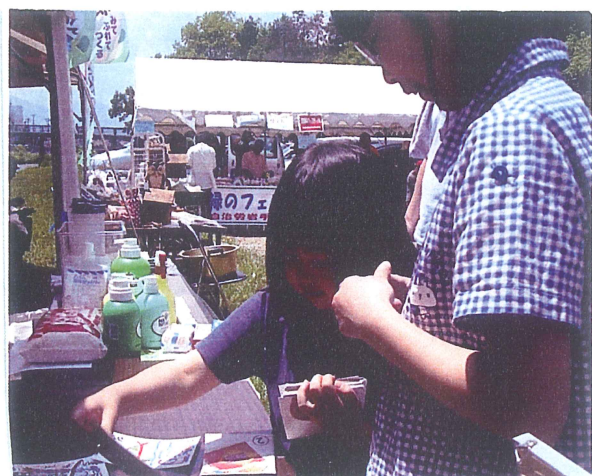
日 時 2008 年 6 月 8 日

場 所 中津川河川敷

- * 「やさしい地球と生きる 考えよう！100年後の地球」と題して、「みどりと水と食の祭典 緑のフェスティバル」が開催されました。
- * 生活問題研究会では、水を汚さない、物を大事にするという観点から廃油から作ったせっけんの配布と、ステージ上でのせっけん作りの実演をしました。
- * 環境問題に関心があるのか、興味を持ってせっけんを持ち帰ってくれる人が多く、手ごたえを感じました。実際に使ってもらい、良さがわかればさらに使ってもらえると考えます。
- * ステージ上でのせっけん作りの実演も、初めて見る人が多くて興味を持ってもらえました。ただ時間帯がお昼時でなければ、もう少し多くの人に見てもらえたかもしれません。今回、私は初めてせっけん作りをしました。薬品が思いのほか熱いのと、廃油がたくさん必要だということが印象に残りました。かき混ぜ方に問題があったのか、固まり方が悪かったということでした。もっと手早くかき混ぜ続ける必要がありました。次回への課題です。
- * また、研究会製作の「環境かるた」でかるた取りもしました。子どもにとっても好評で、壁に貼るだけよりも実際にプレーしたことで、環境への関心も持ってもらえたので良かったです。
- * 私たちと同じテントでは盛岡市水道部が、盛岡・東京・大阪の水道水の飲み比べをしました。もちろん盛岡の水はおいしいのですが、三箇所の違いが意外にはつきりせず難問でした。いずれにせよおいしい水のためには、やはり水源のきれいさが重要です。
- * 当日は好天に恵まれ、家族連れなど多くの参加者がありました。市の中心部でも子どもが裸足で川に入り、イワナつかみをすることができる清流を守り続けたいという思いを皆が強くしたと思います。
- * 今現在、環境問題にたいして興味がない人でも、苗木の無料配布や子どもに喜ばれるイベントをすることによって集客が図れており、啓発効果は得られていたと思います。今後は、来て楽しいだけではなく、もっと環境問題を前面に出してもいいのではないかと考えます。
- * 他の団体の人との交流や、情報交換ができて実りのある一日でした。

報告 横藤崇子

2008 6/8 緑のフェスティバル



生活問題研究会

20年度（第22回）岩手県ふるさと食品コンクール審査会に参加して

日時： 平成20年9月11日(木)10:00～15:00

場所： 岩手県工業技術センター

趣旨

近年産地偽装や食品への毒物混入等に端を発する食の安全安心に対する消費者ニーズが高まってきており、県産食材を使用した高品質で特色ある加工食品の開発、普及が重要な課題となっている。

このことを踏まえ「岩手県ふるさと食品コンクール」を開催することにより、県産農林水産物を原料とした新製品を促進すると共に製品の普及を図るものである。

食品産業の部	26点	(辞退3点)
加工食品の部	25点	
高等学校の部	6点	以上57点の出品

6名の審査員が試食しながら、地域性、独創性、品質、包装、価格、県産食材の活用度の高いものなどを審査しました。

雑穀やエゴマ・シソ・など地域の特産品を使った商品、パンや菓子等に米粉をもちいた商品も多かった、出品者の方達も説明しながらPRにも力をいれていました。

2次審査の結果

☆最優秀賞 いわてぜいたくクッキー（県産小麦 ゆきちから100%）

◎優秀賞

食品産業の部	加工食品の部	高校の部
・黒米うどん	・米菓子（プリン）	・花農イチゴ・梅ジャム
		・ブルーベリー・すもも

○ 優良賞

・五穀カレー	・トマトりん	・雑穀入りフランスパン（あわ・ひえ・きび）
・牛乳寒天	・ふりかけ	・さばあたまっこ

コンクール最優秀賞品は、ふるさと食品中央コンクール（全国）の県代表として推薦する。入賞品は27日から小岩井農場で開かれる「岩手まるごと秋の収穫祭」で表彰、展示・販売もされました。

報告

杉山温子

岩手県消費者大会

日 時：2008年10月28日（火）

10：30～15：00

会 場：サンビル7階

テーマ：「消費税を含む庶民負担増に反対し、
私達が安心して暮せる社会を目指そう！」

午前

1. 全体会基調講演 10：40～12：00

「消費税は増税しなくても財源はある

～暮らしを守るために財政のあり方を考えよう!!～」

講師：政治評論家 森田 実先生

構造改革を謳い、市場原理や競争万能の新自由主義を押し付けた小泉政権から7年、各分野の格差を広げ、地方疲弊（出費がかさむのに収入が減って困窮する）と庶民の生活が破壊され、庶民の暮らしを良くする政策を持たず将来の不安が広がっています。なぜこのような不安な世の中になったのでしょうか。

歴史的背景から日本はアメリカに翻弄されているからではないか、アメリカに振り回される事なくまた、世界から取り残されることのない政治が必要でありマネーゲームを抑制し福祉路線に戻すべきであるというお話でした。

2. 平和パフォーマンス 12：00～12：20

「平和の中で輝く子どもの日常のつぶやき」

語り草子の会 高橋 瑛子さん

3. 決議提案

全体会感想

4月の後期高齢者医療制度の導入、来春の介護保険料負担増、働いても報われない低所得者層の増加、危険な輸入食品、ミニマムアクセス米の汚染問題、アメリカ発の世界金融不安等課題が山積みです。

森田先生の講演で「国は財力がない訳ではなく、消費税の増税をしなくても財源はある（埋蔵金がある）」というお話もしていましたが財源を具体的に挙げてほしいと思いました。

また、現在の社会の矛盾、政治の矛盾をとっても考えさせられました。

安心して暮せる世の中になるよう、早急に実施すべき政策に取り組んで欲しいと

思います

今後も学習会の場に参加し、微力ながら活動していきたいと思います。

1	食料を考える	「世界の危うい食料事情を知り、 日本農業の再構築を！」
2	身近な環境を考える	「できるかな？身近なエコ実践」
3	介護の見直しを考える	「介護難民を作らないために」
4	医療負担増を考える	「安心できる医療制度を考えよう」
5	悪徳商法を考える	「解決できます！悪徳商法のこんなトラブル」

午後：分科会 13：00～15：00

第2分科会 身近な環境を考える

「できるかな？身近なエコ実践」

担当団体：いわて生協 新日本婦人の会 生活問題研究会

急速に進む地球温暖化の影響は、私達の身近で起きており強い不安を感じています。地球環境の為一人ひとりが小さなエコを実践していくこともささやかではあっても、温暖化を食い止める事になるのではないのでしょうか。

- ・活 動 報 告：遠野エコネット 千葉 ^{なごみ}和さん(事務局長)
- ・ワークショップ：「環境かるた」「エコツリー」
- ・展 示：「布ぞうり」「アクリルたわし」「はし袋」
- ・交 流：かるた取り

全体進行 いわて生協 磯田 朋子さん
司 会 生活問題研究会 佐藤 まゆみさん

最初に「遠野エコネット」の事務局長千葉さんより会の活動を報告していただきました。

遠野エコネットは2004年5月「かつて当たり前に人と共にあった自然を取り戻し後世に残したい」という思いで設立されました。

スライドで活動の様子を話してくださいました。

① エコマップ部会 ② ネイチャースクール部会 ③ エコツリーズ部会

④森再生・山仕事部会 ⑤自然農法部会

の5部会で活動しているとのこと。

子供たちにとって自然の中での体験は大切です。とりわけ幼児期における自然体験は脳の発達にも大事なのだとお話いただきました。

ワークショップでは環境かるた取りと生活問題研究会松村さんから「エコツリー」について説明がありました。

啓発活動の一環としてエコツリーをサンビル7階エレベーター前に設置。「エコについて普段気をつけている事」を葉っぱに書いて貼り付けてもらいました。

その中から幾つか紹介されました。

- ・ 出かける前にはコンセントからプラグを抜く
- ・ 洗面所の電球を2個から1個に減らした
- ・ 冷蔵庫の開閉を少なくするよう心掛ける
- ・ 外食の際食べ残しはタッパーに入れ持帰る 等

30枚程の葉っぱが貼られました。

最後に参加者30名でかるた取りに挑戦しました。多く取れた方には手作り石鹼を差上げるというおまけもあり、みんな童心に返り取り合っていました。

千葉さんから会の締めくくりとして頂いたお言葉です。

子供の頃から虫取りして遊んだり野山を駆け回ったりといった自然体験があると自分が自然の一部であることに納得できると思います。心で納得しないと行動は出来ない。頭でわかっているだけでは環境に優しい暮らしや行動は長続きはしないと思います。だから私達は大人も子供も自然で遊ぶ活動を大切にしています。

地球温暖化は止められません。速度を少しでも緩めるかしかなく、今人間は試されているのです。

構えないで「楽しんでやる」というのが環境問題のキーワードではないか、とのことでした。

報告 細野 孝子



環境かるたをとる参加者たち

《エコツリーを作成するにあたって》

急速に進む温暖化問題が毎日のように新聞やテレビで報道され、地球環境の危機がとりあげられています。

温暖化を防ぐため積極的に工夫をこらすことにより、私達の生活の中から二酸化炭素（CO₂）を減らすことが大切と考えます。

このようなことから、環境について毎年テーマを決め啓発活動を行なってきました。

その一環として、今年は「エコツリー」を作成しました。

「エコツリー」とは模造紙に木の幹を描き、更に手作りの木の葉を貼り付けていくもので、消費者大会に参加された皆さんにどんなエコを心掛けているかを木の葉に書いてもらい、それぞれのエコの木の葉で木がいっぱいになりました。

30枚の木の葉には・・・

- ・ 出かける前にはコンセントからプラグを抜く
- ・ マイバッグを持参しレジ袋はもらわないようにする
- ・ 冷蔵庫の開閉を少なくするよう心掛ける
- ・ 徒歩や自転車、バスなどの利用でマイカー移動を減らす
- ・ テレビを観ないときはこまめに消す

などひとり一人の心掛けにより少しでもCO₂削減を目指して行きたいものです。



報告 細野孝子

「ごみゼロいわてをめざして3R」活かそうもったいないの知恵

3R推進岩手大会 & いわて環境王国展

地球にやさしい暮らしを岩手から。見て、学んで、やってみよう!

2008 **11/1・2** 土曜日 日曜日
(9:30~17:00) (9:30~16:00)

主会場 **aiina** アイーナ
いわて県民情報交流センター
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号



会場へは鉄道、バスなど
公共交通機関をご利用ください。

リサイクルしましょう携帯電話!
使わなくなった
携帯電話を回収します。

メーカーや機種は
問いません。
お持ちの方に
ストラップ進呈!!



アイーナ5階
(ギャラリーアイーナ)

NTT docomo



3Rは、
Reduce(リデュース)・
Reuse(リユース)・
Recycle(リサイクル)
の3つの頭文字。

がんばろう!岩手2008



ご来場プレゼント

各日先着500名様(9:30~)

コンビニecoバッグ
アイーナ7階 アイーナホール前
プレゼント!

各日先着500名様(昼12:45~)

いわてのわかめ プレゼント!

アイーナ7階 アイーナホール前

紙芝居会場

各回先着100名様(合計600名様)

11/1(土) ●11:00~ ●13:00~ ●15:00~

11/2(日) ●10:00~ ●13:00~ ●15:00~



岩手県生活問題研究会

3 R 推進岩手大会&いわて環境王国展

日 時 11月1日・2日

会 場 アイーナ

2日間にわたり「ごみゼロいわてをめざして」と題して『3 R 推進岩手大会』と、「地球にやさしい暮らしを岩手から」と題して『いわて環境王国展』がアイーナで開催されました。環境問題に関する企業・研究機関・市民団体の発表や展示、また有識者の講演会、映画「不都合な真実」の上映会など様々な催しが大規模に行われました。

生活問題研究会も、独立した立派なブースを用意していただき「エコツリー」と「環境かるた」を展示しました。

「エコツリー」は、会員や県の消費者大会の参加者が、日ごろ実行している身近なエコ活動を葉っぱに書いて木の上に集めたものです。

初日には、「環境かるた」が地元テレビ局の情報番組に取り上げられました。親子連れの来場者が多く、たくさんの子どもがかるた取りに参加してくれました。一般の来場者にも好評で、環境問題への関心の高まりが感じられました。

かるた取りをした親子の中に、かるたやツリーに書かれているような、物を大事にしてリユースやリサイクルに取り組むということは、何でもしているという親子がいました。その小学生の子どもの洋服はお母さんの手作りで、帽子のひもは和菓子の箱のきれいなひもを利用したものでした。

頑張ってCO₂を減らすのだとか、何が何でもエコライフだといった感じではなく、楽しみながら無理せず取り組んでいる様子が伝わってきて感心しました。

家庭では、親が環境を意識した生活をしていると、自然に子どもにもそれが伝わるようです。まず大人が、これ以上地球環境を悪化させないで、次の世代につなげていけるよう、自分に何ができるか考え行動していくことが大切だと思います。

個人個人では、家庭に太陽光発電装置を設置するとか、省エネ型冷蔵庫に買い換えるなど、お金がかかって大規模なことはなかなか困難です。エコライフも無理や頑張りすぎは長続きしないと思うので、マイバッグを持参する、電気やガソリンを無駄にしないなど、身近なちょっとしたことをずっと続けることの方が大事だと思います。

他のブースでは、企業や自治体、大学など研究機関の展示もあり、様々な環境への取り組みに触れられ学ぶことができ、交流することもできました。

問題点としては、3 R 大会と環境王国展がひとつのイベントとして行われたため、行政の窓口がはっきりせず連絡がきちんと伝わらなかったり、どのような内容のものになるのかイメージしにくかったことが挙げられます。次回からの改善を望みます。

また、せっかく色々な催し物をやっていたのに、時間の都合などで全部は見られませんでした。せっかくまとめて勉強できる機会でしたので、その点は残念でした。

報告 横藤崇子

布ぞうりつくり

平成 20 年 7 月

押入れなどに眠っている衣服やシーツ、ジーンズなどに日の目をみせて、毎日の生活の中に“エコ”を取り入れようとの考えから“布ぞうり”を作ることになりました。

古い浴衣やニット製品を巾4センチくらいにさいて、ぞうり作りに挑戦しました。布地によっては、作りやすいもの、手かげんでそれぞれ違った「姿」「形」ができ、笑いのうちに進みました。基礎となる太めのビニール紐や、サイズにあわせて作ったつもりが手かげんで大きくなったり、子ども用になったり・・・一応は完成しました。毎日“ぞうり”を使用することで、足の指にも力がついて健康にもよく、フローリングの床が多くなっている家庭では、床が磨かれ、一挙両得となります。ぜひいちど挑戦してみてください。

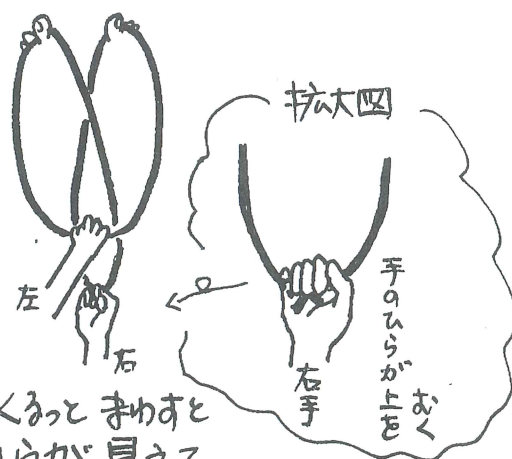
※ 洗濯もできます。

慣れないうちは、すべることがありますので充分注意してください。

報告 葛 和子



県消費者大会で展示



右手をくみとまわすと
手のひらが 見えて
図の様に ロープに バッテンが
できます。

布ぞうりの作り方

第3回容器包装3R推進フォーラム

「消費者、自治体、事業者の連携による容器包装3Rの具体的取り組みをめざして」

期日 平成20年10月6日

場所 東京国際交流館 プラザ平成

主催 3R推進団体連絡会

第2分科会

～リユース容器の拡大方策～

1 びん再利用ネットワーク「Rドロップスの報告」

1994年、6生協・連合会、193万人組合員で設立。（新潟県総合生協 8万人、東京都生協 21万人、パルシステム連合会 94万人、生活クラブ連合会 30万人、生協連合会きらり 4万人、グリーンコープ連合 36万人）

活動内容はびんの規格統一

- ・ 規格（形）統一により酢のびんは酢のリユースだけでなくジュースや醤油、ソースなど使いまわしを可能にし回収、選別、洗浄の効率を向上させた。

びん再利用ネットワークのびん回収実績は94年では45%、99年に70%になりその後は横ばいという状況。

- ・ 新しいRびんの開発

07年3月、若者に支持されるRびんを作ろうと「プロジェクト」を発足。07年7月3大学の学生に協力依頼し「デザイン」を決定。愛称を「Rドロップス」と命名。

デポジット金額について、テスト販売したところデポジット金額30円が71、3%と一番回収率が高かった。

2 大手量販店におけるリターナブルびん入り商品の販売促進の構築について

（経産省平成19年度事業）

リユース促進に取り組む方法はなにか、こういった市場で、どのような展開が効率的かを知り今後のリユース活動に活かすことを目的に実施。そのために次のことを行った。

（1）リターナブルびん販売促進企画

リターナブルびんを購買する事が環境保全につながる事の啓発が消費者に認知され、購買促進につなげるための、売り場づくりと販売促進企画を検討。

（2）リターナブルびん環境学習見学会

環境学習見学会を行う事により、参加者の意識がリターナブルびん継続購入につなが

っていくか検証する。

（３）事業効果を検証する事前事後消費者意識調査

消費者がリターナブルびんの認知・購買に関する意識変化を把握する。

その結果、①環境意識は潜在的に高いものの特別な行動にでる機会は少ない。②店の必要な取り組みとして・１本購入が削減につながる事のメッセージを発信する ・空びん回収の仕組みを作る（ビールびんは回収しているがその他のびんは回収していない）③定期的な学習の実施は、消費者の購買行動を高める可能性がある。

３ リターナブルびんの新たな取組みと LCA 評価（経産省リサイクル推進課）

リターナブルびん普及啓発キャンペーンなど販売促進、回収率向上のための調査を行ったもの（５件）

リターナブルびんを使用したモデル実験（２件）

事業で得られた成果

消費者関係

びんは重い、壊れやすいというマイナス評価が多い。

リターナブルびん商品の選択余地が少ない。

ビールびん、一升びん以外のリターナブルびんは認知度が低い。

販売者及び製造者関係

パンフレット配布などリターナブルびんであることの明示で消費者の認識率上昇。

リターナブルびん利用商品の拡大が必要。

びん回収拠点など消費者にたいするインセンティブ（誘因）が必要。

携帯可能なリターナブルびんは使用回数が２、５回を越えるとペットやアルミ缶等に比較し CO₂ 排出量が少ない。

話し合い

以上の事例発表後話し合いが行われました。

- ・びんのリユースをすすめるシステムは、ある地域範囲の限定で行ったほうが効果が上がるし LCA もよい結果をもたらす。（R ドロップス事業）
- ・公共施設ではリユースが基本というスタンスにする。（病院、学校、幼稚園）
- ・びん回収拠点のしくみ作りとびんの種類の共通化。
- ・軽くて安全、若者が好むびんの開発。
- ・生きた環境教育として学校給食の牛乳はびんにする。いまの若い層はびんがリユースできるということを知らない。
- ・分かりやすい情報提供

例 ビールのカーボンフットプリント、ビール 100m l 当りの CO₂排出量 (g)

	大瓶 633m l	缶 350m l
輸 送	6、5 g	4、4 g
製品製造	13、8	10、7
容器製造	5、3	34、7
原料栽培	4、8	4、8
リサイクル	－0、7	－8、5
計	29、7	46、1

大 瓶 で は C O₂ 排 出 量 188g の
内 15%が容器製造に使われるが、缶ビール
350m l ではC O₂排出量 161g の内 60%が容
器製造に使われる。

感想

今環境問題は企業にとっても重要な解決課題の一つで、アレコレと策を練っていることが伺えました。しかし実行となると売り上げが落ちるということでなかなか難しいというのが現実のようです。そこで、消費者にどう説得するかというPRも解決策の一つと思われます。勿論私たちも学び、実行することですが。

話し合いの中で若い人たちがビンのリユースを知らないということには驚きました。学校でも紙パックの牛乳で育った環境を考えると、それもありかなと納得せざるを得ない思いでした。少なくとも公共施設ではできるだけリユースのできる容器にするなど国としてもある程度の関与が必要でないか。この環境問題については環境省と経産省が事業として取上げていますが、縦割りでなく連携して企業、国民を動かすような事業を行い、その成果を点から線、そして面へと広げるよう取り組んでほしいです。今回、この研修に行って国の事業のことを知りましたが、もっとこのようなことは知らせるべきだと思います。

研修に参加して各方面の活動を知り、こらからの研究会の活動に取り入れていきたいと思いました。

広野 カツ子



第47回全国消費者大会に参加して

日 時 2008年11月4日 (火)
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
テーマ 今こそ変えよう！消費者主役の社会へ

全体会 (10:30～11:50)

基調講演「誰もが人間らしく生きられる社会を！」

講師 湯浅 誠さん「NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長
反貧困ネットワーク事務局長他

90年代よりホームレス支援に携わり、「ネットカフェ難民」問題を数年前から指摘し火付け役となるほか、貧困者を食い物にする「貧困ビジネス」を告発するなど現代日本の貧困問題を訴え続けている内容の講演でした。

感想

新聞やテレビなどでは、ネットカフェ難民とかワーキングプアということばを聞いておりましたが、自分の身近なところで目にすることがないせいか、都会に住んでいる人たちのことかと人ごとのように思っておりました。しかし、湯浅さんの講演を聞き、サポートセンターに届くメールの内容や実際に起きている現状を聞き、貧困は労働、金融、居住、福祉といったあらゆる分野を通じて問題化し、貧困問題は消費者問題であるという意味が分かりました。最低限度の生活をするために国や自治体の制度はこれでいいのだろうかということを感じました。

分科会 (13:00～16:30)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1 環境 | もう来ている！地球温暖化！！ |
| 2 食 | 私たちの食料は大丈夫？ |
| 3 消費者政策 | 今こそチャンス！地方消費者行政の充実・強化 |
| 4 税・社会保障 | いま、あらためて税・社会保障を考える |
| 5 平和 | 平和について語り合いましょう |

食の分科会に参加 (約200名の参加)

講演 ジャーナリスト 青沼 陽一郎さん

日本の食は海外に依存している～中国の食品工場訪問レポート～
(中国食品工場のひみつ)

- ・ アジア米騒動の実態・世界的なインフレ傾向と食料戦略
- ・ 日本の食料自給率
- ・ 日本の食文化の特徴・中食文化
- ・ 中国の地域的多様性と広さ 国土日本の約26倍ヨーロッパがすっぽり入る広さ

人口約 13 億人 世界 64 億 5 千万人 5 人に一人が中国人 日本の 10 倍
ビール生産 世界第 1 位 富裕層は日本の人口に匹敵 ベンツ保有台数は
日本より多い、などの状況説明があり、

- * 昨年あたりから、食品価格や資材の高騰、安全面での食の危機といわれているが、
日本向け食品工場はなぜ中国が多いのか
- * そこでは何をどうやって作っているのか
- * 日本人消費者の要求に応えるためになされている現場の様子
- * 中国野菜基地の様子
- * 拡大する中国国内の消費。今では中国でもお寿司や醤油も食べている
- * 中国向けの工場はきたなかったりしているところもあるが、日本向けのものは立
派な工場になっている
- * 中国は一人っ子政策で人口減となっていており、労働力不足が進んできている。
これからも日本人向けの安いものが食べられるか危機感がある
- * 日本の消費者が中国から見捨てられる日がくるかも
- * 「中国が危ない！」ばかりでは日本人の食べ物がなくなってしまう、などの内容
でした

パネルディスカッションでは消費者、生産者、小売業者の参加で、価格高騰の現状、
国内に業の維持発展、食料自給率の向上、食料安定供給と適正価格、食の安全の確保
などについて議論されました。

感想

日本の食は海外に依存していることは分かっておりましたが、中国の食品工場の訪
問レポートの映像には唖然とさせられました。

日本と近い中国の半島では、食品工場がひとつの街になっており、数千、数万人の
労働者が出稼ぎに来て寮に入っている。日本人は見た目にもこだわる食文化があり、
作るときに重さ、形などをきっちりと守り、ミスすると誰が作ったか分かるように管
理されている。骨なし魚などピンセットで小骨を取り、形を同じくしたり、さんまを
わざわざ日本から運び、魔法の粉（魚から取った接着剤）をかけて前のような形にす
る。生ゴミが出ず、医療食や学校給食にもなっている。鶏は生きたまま機械で羽をむ
しり取られ、切り分けられていく。かき揚げは重さが違うと日本人は怒るので、量っ
て同じ大きさにしている。このような映像を見たあと、スーパーの惣菜売り場を見ると、
買う気がしなくなっていました。

また、中国や他の国でも日本より高く買えるようになり、買い負けがでてきている
ことは、お金を出しても買えなくなることを意味していると感じました。

日本では食についてこれまで他の国々にたよってきたことが問題で、そのためには、
食料自給率を高めるような政策を早く取るべきだと思いました。

全国消費者大会では、地方では聞けないような内容の講演があり、今回の全体会、
分科会に参加でき学習する機会をいただいたことに感謝し、これからの活動に活かし
ていきたいと思っています。

報告 松村 ウメ子

平成 2 0 年度活動報告（2008 年度）

4 月

- 3 日（木）活動報告書検討 共済会会議室
- 9 日（水）例会 共済会会議室
- 12 日（土）「市水道もりおか」の取材を受ける 教育会館
- 13 日（日）「市水道もりおか」掲載の必要物品を準備 研究会ルーム
- 18 日（金）活動報告書作成 共済会会議室
- 23 日（水）消団連総会並びに記念学習会 県民生活センター

5 月

- 8 日（木）きれいな水とみどりを守る連絡会会議 水道部
- 12 日（月）みどりのフェスティバル実行委員会 労働福祉会館
- 15 日（木）例会 共済会会議室
- 28 日（水）消団連幹事会 県民会館会議室

6 月

- 6 日（金）みどりのフェスティバル準備 共済会会議室
- 8 日（日）みどりのフェスティバル 中津川河川敷
- 11 日（水）例会 共済会会議室
- 19 日（木）後期高齢者医療制度学習会 盛岡市総合福祉センター
- 25 日（水）食育シンポジウム アイーナ
- 25 日（水）消団連幹事会・消費者大会実行委員会 県民生活センター

7 月

- 2 日（水）盛岡消費者友の会 35 周年記念講演会並びに祝賀会
ホテルニューカーリーナ
- 3 日（木）布ぞうり作り 共済会会議室
- 9 日（水）例会 共済会会議室
- 23 日（水）盛岡市水道取水口見学
4 箇所 新庄→米内→中屋敷→沢田取水口
- 24 日（木）消団連幹事会並びに消費者大会実行委員会 教育会館

8 月

- 1 日（金）盛岡市消費生活センター見学会
- 1 日（金）水の日リサイクル石けん無料配布 肴町ホットライン
- 7 日（木）例会 共済会会議室
- 25 日（月）消費者大会分科会会場下見・打ち合わせ サンビル
- 27 日（水）消団連幹事会並びに消費者大会実行委員会・
公正取引委員会懇談会 県民生活センター

9 月

- 4 日（木）エコツリー作成 共済会会議室
- 5 日（金）もうがまんできない、原油高！消費者・生産者・事業者緊急大集会
教育会館大ホール
- 8 日（月）遺伝子組換え農作物に関するコミュニケーション ホテル東日本
- 10 日（水）例会 共済会会議室
- 11 日（木）税・社会保障を考える連続学習会 教育会館
- 16 日（火）第 28 回盛岡消費者まつり実行委員会担当者会議
- 18 日（木）消費者大会分科会（環境）打ち合わせ 教育会館
- 19 日（金）＜議員提出条例発議案「（仮称）いわての水を守り育てる条例」に
係る県民説明会開催のお知らせ＞に参加
県議会議事堂大会議室
- 25 日（木）平成 20 年度岩手県生活者懇談会 マリオス
- 26 日（金）消団連幹事会並びに消費者大会実行委員会 県民生活センター
- 26 日（金）消費者まつり打ち合わせ 共済会会議室
- 26 日（金）いわて環境王国展説明会 アイーナ

10 月

- 1 日（水）盛岡消費者まつり実行委員会担当者会議 盛岡市役所肴町分庁舎
- 6 日（第）3 回容器包装 3 R 推進フォーラム
東京国際交流会館プラザ平成
- 8 日（水）例会 共済会会議室
- 15 日（水）消団連幹事会並びに消費者大会実行委員会 教育会館
- 24 日（金）消費者大会準備 共済会会議室
- 28 日（火）岩手県消費者大会 サンビル
- 31 日（金）環境王国展物品搬入 アイーナ

1 1 月

- 1 日（土）・2 日（日）いわて環境王国展 アイーナ
- 4 日（火）全国消費者大会 国際オリンピック記念青少年総合センター
- 7 日（金）第 28 回盛岡消費者まつり プラザおでって
- 1 2 日（水）消団連幹事会・消費者大会実行委員会反省会 利衛門
- 1 3 日（木）例会 共済会会議室
- 2 0 日（木）食品表示フォーラム in 盛岡 アイーナ
- 2 1 日（金）消費者救済資金貸付制度 20 周年のつどい 盛岡グランドホテル
- 2 5 日（火）郷土食料理講習会 県民生活センター調理室
- 2 9 日（土）平和憲法・9 条をまもる岩手の会 サンビル

1 2 月

- 4 日（木）産直運動推進大会 県民会館
- 1 0 日（水）例会 共済会会議室
- 1 2 日（金）介護保険を考える集い 水産会館
- 1 5 日（月）食の安全学習会 岩手農政事務所
- 1 7 日（水）盛岡消費者まつり反省会 盛岡市消費生活センター
- 1 8 日（木）消団連幹事会 教育会館
- 1 9 日（金）石油事情講習会 県民生活センター

1 月

- 1 4 日（水）例会&新年の集い 共済会会議室・グランドホテル
- 1 9 日（月）盛岡市消費者センターを知る おでって
- 2 1 日（水）郷土食調理実習 県民生活センター
- 2 4 日（土）地域医療を考える 教育会館
- 2 8 日（水）消団連幹事会 教育会館

2 月

- 2 日（月）平成 20 年度「いわて女性のつどい」 県民会館大ホール
- 4 日（水）例会 共済会会議室
- 7 日（土）「多重債務問題の解決にむけて」講演会及び懇談会 エスポワールいわて
- 1 0 日（火）県民みんなで支える地域医療シンポジウム マリオス
- 1 2 日（木）「許せない！年金・社会保障の財源が消費税増税？」学習会
岩手教育会館
- 1 7 日（火）シンポジウム「食品の安全を考える・今の食品と安心」 教育会館
- 2 4 日（火）電気商業協同組合「消費者懇談会」 県民生活センター
- 2 4 日（火）盛岡消費者まつり実行委員会 おでって
- 2 5 日（水）消団連幹事会 県民生活センター

活動風景



新庄浄水場で学習会



緑のフェスティバルで石けん作りをする参加者

